内藤幸男と座間の未来を考える会

市政ドリル 第37号

令和４年
３月議会版

責任感
郷土愛
情熱

座間市の市政を一緒に考えましょう！

問1 新年度予算で総合福祉センターの大規模修繕工事設計委託費が計上されました。
こちらは同センターに別施設の機能移転を図るためのものですが、その施設とは？

①シルバー人材センター　②地域活動支援センター　③青少年センター

問2 ちぐさ保育園が民営化、移転し、令和6年4月から開園する予定です。
その移転先とは？

①市営四ツ谷住宅跡地　②鳩川プール跡地　③四ツ谷コミセン隣接地

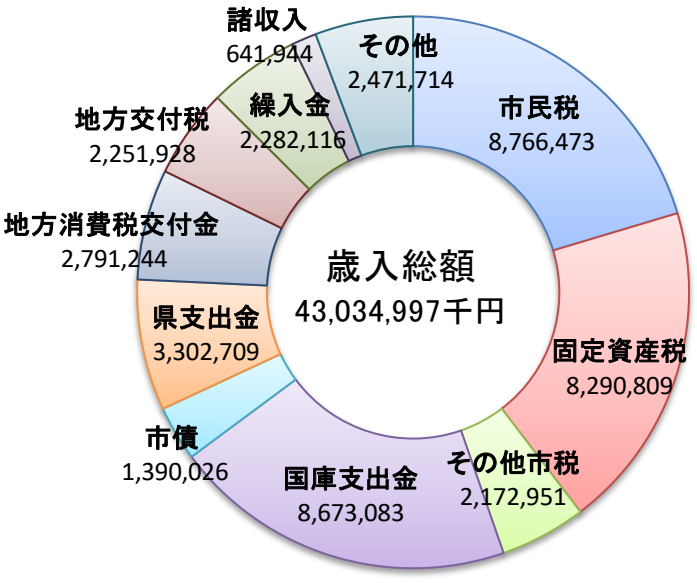
令和4年度一般会計予算に対し附帯決議を提出
計画性と庁内連携をした行政運営求める

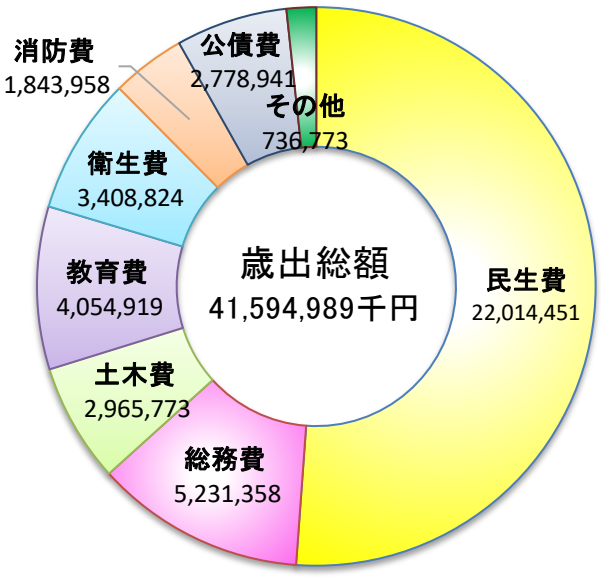
令和4年度一般会計予算は過去最大の予算額となりました。市長いわく今回の予算編成については、「選択と集中によりすべての事業を見直し、優先的にやらなければならないことを見極め、公約実現に向けて着実に進めていくことが叶った」とし、ふるさと納税返礼品事業や小学校給食室に空調機を設置するための事業など、独自色を初めて出した予算編成となりました。

しかし一方で、短期間での決定により計画性の乏しさ、庁内での調整不足などが浮き彫りとなった事業も見られました。そのため、我々自民党・いさまは令和4年度座間市一般会計予算に対して付帯決議を提出させて頂き、賛成多数で可決をしました。
（付帯決議の内容については主な新規・拡充事業と合わせて2面に記載）

予算案の概要

一般会計		特別会計		公営企業会計		総計
430億3499万円 前年比4.2%	＋	244億4201万円 前年比3.8%	＋	75億1559万円 前年比0.7%	＝	749億9260万円 前年比3.6%





確かな一歩の積み重ねで座間市の未来へつなぐ。

答え　問1 ③、問2 ①

自民党

内藤幸男と座間の未来を考える会

☎090-6107-3467
✉zama@naito-yukio.com
〒252-0028　座間市入谷東3-8-23
HP　内藤幸男　検索　討議資料

令和4年度、主な新規・拡充事業

・総合福祉センター大規模修繕事業費【2,820万円】

大規模修繕工事の設計委託費。総合福祉センターを複合化し、青少年センターの機能移転を図ります。現在の機能を可能な限り継続できるよう、1階には音楽室、卓球スペースおよび会議室等の設置を計画しています。

・ふるさと納税返礼品事業費 【2,496万円】

地域の産業振興を目的にふるさと納税に対する返礼品制度を導入しますが、現段階では返礼品は一切決まっていません。

・保育所施設整備事業費【3億3,569万円】

緑ヶ丘保育園新園舎建設に伴う補助及びちぐさ保育園の民営化予定地の測量を実施するための予算措置です。緑ヶ丘保育園については新園移転に伴い民間事業者による運営が始まりますが、同事業者のプレゼンにより病児・病後児保育も開設されることが分かりました。また、ちぐさ保育園については、本年度民間移管事業者を公募し、市営四谷住宅跡地の一部に、令和5年度に新たな園舎を建設する予定です。開園は令和6年4月開所を目指しています。

・ホームページ作成事業費 【3,507万円】

市ホームページの見やすさや情報の探しやすさといった機能の充実を図るため全面改修を行います。

・芹沢公園再整備事業費 【1,233万円】

芹沢公園南側エリアの斜面や樹木などを豪雨から守る対策を検討するための予算措置です。

・地下水保全基本計画管理事業費【425万円】

地下水の水量と水質に関する計画的な管理と総合的な地下水保全施策を進めるため、平成28年度から令和7年度までの10年間の計画を定めた「地下水保全計画」の中間検証を実施するための予算措置です。

・デジタルトランスフォーメーション（DX）推進事業費 【4,380万円】

デジタルトランスフォーメーションを推進するための予算措置。現在は昨年12月に私も提案をさせて頂きました業務量調査を実施しており、この分析をもとに今後の改善策が洗い出され、その後DXを推進するための基本方針が示されます。

・学校給食施設整備事業費 【1億7,843万円】

小学校給食室に空調機を設置し、調理場の衛生環境向上及び給食調理員の労働環境を改善するための予算措置です。当初は予算の平準化を図るため、10年間のリースで計画を経てていましたが、市の一般財源において1年間で実施される計画となりました。

・中学校施設整備事業費 【1,174万円】

東中学校にエレベーターを設置するため、設計委託を行うための予算措置。国は令和7年度末までに要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校にエレベーターを整備することを目標とする中、本市では東中学校と相模中学校が該当するとのことで、設置環境や交通条件から東中学校のみ設置校として選択されました。なお、アクセス支援の在り方や小学校の設置校、現在ある肢体不自由学級との一体的な整備計画等についてはまだ決まっておりません。

令和４年度座間市一般会計予算に対する附帯決議の主な内容

（＊附帯決議とは…議案を可決する際、議案内容だけでは不十分だと思われる点に対して、議会の意思を表明するもので、法的な拘束力はないものの、執行部としては、議会の意思を尊重することが求められます。）

■ ふるさと納税返礼品事業に対して・・・返礼品が明らかになっていない中、近隣市の初年度実績を基に算出した寄付金額及び目標件数は、明らかにエビデンスに欠けており事業の目標とされた本市の産業振興に資するか否かという点は不透明と言わざるを得ません。また、大規模店舗などでの消費につながる返礼品を安易に選択すれば、地場産業、地元商業を 活性化すると訴えてきた市長の姿勢と矛盾も生じると考えることから、所管となっている企画政策課に加えて商工観光課等との情報共有並びに連携を強化すべきと指摘します。よって、ふるさと納税の返礼品については、特に地場産業や地域商業の振興に資するもので構成することを強く求めました。

■東中学校エレベーター設置工事設計委託事業に対して・・・国が令和7年度末までに要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校にエレベーターを整備することを目標とする中、これまで市内においても階段昇降機の事故が複数回あったことに加え、県内他自治体との比較で本市が遅れている現状を認識し、懸命に整備を進めようしてきた姿勢は評価するところであります。しかし、今回の予算措置は、今後の設置計画を含めた全体のスケジュールが不透明であり、学区外への登校を余儀なくされる児童・生徒へのアクセス支援、今後の整備計画も具体的に示されていません。上記の点に関して配慮し、事業を進めるよう強く求めました。

■学校給食施設整備事業の空調機器設置委託料に対して・・・国庫補助金の活用を前提とする公共工事では時間と費用がかかるという答弁が予算決算常任委員会民生教育分科会でされるなど、まさに急いては事を仕損じるの典型と指摘をせざるを得ません。さらにこの答弁の裏づけとなる根拠は示されず、採決での判断にも影響する可能性があることも申し添えました。同事業の必要性と緊急性について異論を挟む余地はありませんが、財源については十分な議論が交わされることなく、一般財源のみでの対応となったことは遺憾であり、国庫補助を活用するなどあらゆる対応を模索すべきであり、再考を求めました。

■座間南林間線道路改良事業に対して・・・予算決算常任委員会都市環境分科会の審議では小田急相模原駅前西地区市街地再開発事業におけるペデストリアンデッキ建設凍結と同様に、周囲に与える影響を考慮しないまま急遽凍結される可能性も否定できないと指摘せざるを得ませんが、本事業は県との連携事業であり、民間鉄道事業者も深く関係していることから、市長の判断により再び急遽凍結ということになれば、さらなる信頼関係の失墜につながる恐れもあり、そのようなことが起きないよう着実な事業完結に向けて、改めて鋭意努力をするよう強く求めました。

一般質問の主な内容

ZAMA CITY FOR THE FUTURE
NAITO YUKIO POLICY
GOALS 16
～座間市の未来へ～ 内藤幸男16の目標

1 皆様からの要望に誠実に応えます
2 教育・医療・福祉分野でのICT（情報通信技術）の活用を推進します
4 地域の新たな魅力を創出します
7 パパ・ママが安心できる子育て環境を整備します
8 多様化社会に合った地域コミュニティの再生を目指します
11 ふれあいと活力ある健康長寿社会づくりを推進します
14 障がい者が自立できる支援策を推進します

①魅力的な公園づくりについて

市民の方々からも大変要望が多く「遊具を増やしてほしい」「ベンチを増やしてほしい」「防災機能を設けてほしい」「健康遊具が欲しい」など、様々な声が私の耳にも入ってまいります。
特に新型コロナウイルス感染症が流行りだしてからは、近場の公園の利用ニーズがより高まっていることもあり、今回、一般質問を行いました。

遊具の入れ替えや機能を持たせた公園の整備計画について座間市はどう考えている？

市長：本市には148の公園、広場があり、そのほとんどに滑り台、鉄棒、ブランコなどの施設の整備がされておりますが、各公園の特徴が見えにくくなっています。今後は、公園ごとに特徴のある機能や質を拡充させることが必要だと考えております。

都市部長：遊具等の更新は、5か年計画を作成し、社会資本整備総合交付金を活用して順次進めています。

誰もが支障なく遊べるインクルーシブ遊具（※1）の整備を求める

（※1障がいの有無や年齢にかかわらず誰もが一緒に遊べる公園遊具）

都市部長：車椅子や障がいのある子どもも分け隔てなく遊べるような遊具を充実させていくことは必要です。昨年11月に芹沢公園にインクルーシブ遊具のブランコを1基整備しました。今後もインクルーシブ遊具の導入を検討します。
福祉部長：インクルーシブ遊具は、障がいの有無に関わらず誰でも安全に楽しめる遊具です。発達に課題のある子どもは屋外遊びを経験する機会が少ないため、身近な公園でその経験をすることで子どもの発達を促すことになると考えます。保護者にとっても気軽に利用できる公園があることで外出の機会が増え、保護者、子ども同士の交流により地域との繋がりが生まれる可能性があると考えます。

日本で最初にインクルーシブ遊具を導入した世田谷区砧公園

西部地区には健康遊具のある公園が無いがどのように考えている？

都市部長：健康遊具の設置については、地域にこだわることなく、設置要望や公園等の利用状況を見ながら、導入を検討します。

地域特性を活かした特色ある公園づくりを進めるため、官民連携型賑わい拠点創出事業を活用できそうな公園は？

都市部長：活用できるのは芹沢公園と捉え、正式なサウンディング調査とは言えませんが、様々な業種の民間事業者に収益施設運営等の投げかけをしましたが、前向きな回答は得られていません。今後は、公園の魅力を向上させることを目的にした視点から、キッチンカーの導入も検討していきたいと考えています。

②充実した学校図書館の整備について

文部科学省は本年1月24日に、第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定しました。当計画は令和4年度から令和8年度までを対象期間とし、公立小・中学校等の学校図書館における学校図書館図書標準の達成や計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充を促すもので、より学校図書館を充実させ、教育に生かしてもらうことを目的としています。本市の状況確認とより充実した学校図書館を整備するための提案をさせて頂きました。

座間市学校図書館の蔵書数（全国達成率は小学校71.2%、中学校61.1%）

学校名	学級数	蔵書数（令和２年期末）	文科省で定める標準冊数	達成率	達成
旭小学校	19	10800冊	10560冊	102.27%	○
入谷小学校	18	11097冊	10360冊	107.11%	○
栗原小学校	20	11869冊	10760冊	100.93%	○
相模が丘小学校	21	11020冊	10960冊	100.55%	○
相模野小学校	20	13175冊	10760冊	122.44%	○
座間小学校	27	12659冊	12160冊	104.10%	○
相武台東小学校	21	11529冊	10960冊	105.19%	○
立野台小学校	27	12863冊	12160冊	105.78%	○
中原小学校	14	9961冊	8360冊	119.15%	○
東原小学校	20	12514冊	10760冊	116.30%	○
ひばりが丘小学校	16	11508冊	9560冊	120.38%	○
合計	228	128995冊	118360冊	108.99%	○
栗原中学校	14	11894冊	11680冊	101.83%	○
相模中学校	17	17010冊	13120冊	129.65%	○
座間中学校	19	12565冊	13920冊	90.27%	
西中学校	20	10892冊	14240冊	76.49%	
東中学校	19	16402冊	13920冊	117.83%	○
南中学校	14	8422冊	11680冊	72.11%	
合計	103	77185冊	78560冊	98.25%	

図書標準達成状況、新聞配備、学校司書の配置について全国に比べても非常に高い水準であり、この状況をどう捉えているのか？

教育長：本市が計画的に地道な図書館整備を進めたことにより、全国水準を超える蔵書数を確保していることは大きな成果であると認識しています。学校では、蔵書点検や図書選定のアンケートを定期的に行い、魅力的な図書の整備を進めております。今後も図書の選定、廃棄、更新が司書教諭や学校図書館司書を中心に進められることを期待しています。

全校に司書が配備され約10年経過、成果と課題は？

教育長：成果は各校図書館司書の工夫により読書に興味を持つ子どもが増え、学校図書館の利用数が増えていることです。図書館を利用した授業も増えています。課題は人材の確保です。ここ数年は年度途中まで全校配置が出来なかったこともありました。また、同一校に継続して勤務することで図書館運営に偏りが出てくることも課題であり、学校間異動も計画をしています。

1人1台学習用タブレット端末と電子図書館のシステムを活用した新たな貸出サービスの検討を求める

教育長：電子図書館は、コロナ禍の外出自粛や学校の臨時休業の際だけでなく、不登校児童・生徒に対して読書機会を提供できるシステムです。学習用端末と電子図書館が相互に活用されることは有意義であり、学校や保護者へ周知して活用を図ります。

点字図書や音声図書、拡大文字図書、LLブック、マルチメディアデイジー図書、外国語図書等の整備を求める

教育長：1人ひとりの教育的ニーズに応じて様々な形態の図書館資料を学校図書館に整備し、充実を図ることは望ましいと考えています。学校では実態に応じて、司書教諭と学校図書館司書が中心になりさらなる整備が図られていくものと考えています。

ここ最近の活動報告

座間駅東口広場（ざまにわ）を活用した魅力づくり

小田急電鉄㈱や座間市と連携を図りながら、座間駅周辺に賑わいと憩いの場所を形成するための事業構築をしています。この春にはざまにわにチューリップが咲き誇るよう、約1000株の球根を植えました。
また、1月には、この場所を活用して、私が所属する青年会議所とざま災害ボランティアネットワークとの協同事業によって災害時の帰宅困難者支援活動の啓発活動を実施しました。

子ども達に「夢」や「目標」「諦めない大切さ」伝える

3月13日に入谷小学校で「アスリートチャレンジ　本物との出会い、挑戦が君を変える。」を開催させていただきました。子ども達と本物のアスリートの触れ合いの機会をつくり、子ども達に夢や目標を持つ大切さや諦めない大切さなどを伝えました。

安全・安心、平和のために

東日本大震災の経験を風化させないため、本年もかながわ自民党座間市連合支部による遊説活動を行いました。また、防災に関する最近の情報を得るため、震災対策技術展自然災害対策技術展にも足を運んできました。AI、デジタル化により効果的なアプリも沢山作られています。

大凧作成お手伝い

座間の風物詩「大凧」作成をお手伝い。
座間の伝統をしっかりと守ります。

“若市議”として全国の仲間と連携し、先進事例を学んでいます

全国若手市議会議員の会の一員として1月には鎌倉市で「NHK大河ドラマ鎌倉殿の13人を活用した観光振興策」、藤沢市で「クラウドファンディングによる観光施設整備事業」や「かまくらスクールコラボファンド」について、さらに和歌山市の「都市再生推進法人を活用したまちづくり」について学び、3月には明治大学ガバナンス研究科と合同開催の特別講座「コロナ禍を経て都市と地方の関係に変化はあったのか？」にZOOMで出席させていただきました。様々な自治体の先進事例にアンテナを張り、本市に活かせるものを提案していきます。

プロフィール
生まれ：昭和５８年１月２２日
出身校：産業能率大学経営学部卒（地域環境論：まちづくりゼミ）
職　歴：前々職〉IT系ベンチャー企業コンサルティング営業管理職／　前職〉(株)タウンニュース社記者
その他：座間市消防団団員（第１分団第１部）
（一社）座間青年会議所（2021年度副理事長）
全国若手市議会議員の会神奈川ブロック代表
財政研究会地方議員連盟発起人
子どもの事故予防地方議員連盟
＜今期の議員役職＞
民生教育常任委員会委員長
ICT推進検討委員会委員長

後援会へのご加入も随時募集しております。ご要望なども気軽にご相談ください。
お電話090・6107・3467もしくはメールzama@naito-yukio.comにてご連絡ください。